

Fujiheavy's **Robin Engine**

**ロビンエンジン**

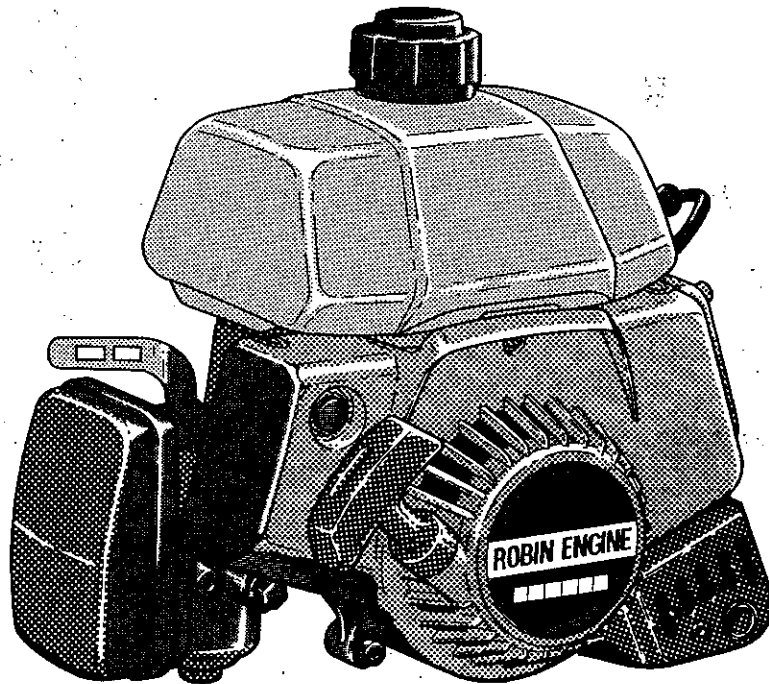


**取扱説明書**

**ECO3ER形 34.4cc**

**ECO4ER形 40.2cc**

●潤滑油混合ガソリン使用



 **富士重工業株式会社**

1ZZ9010014

# まえがき

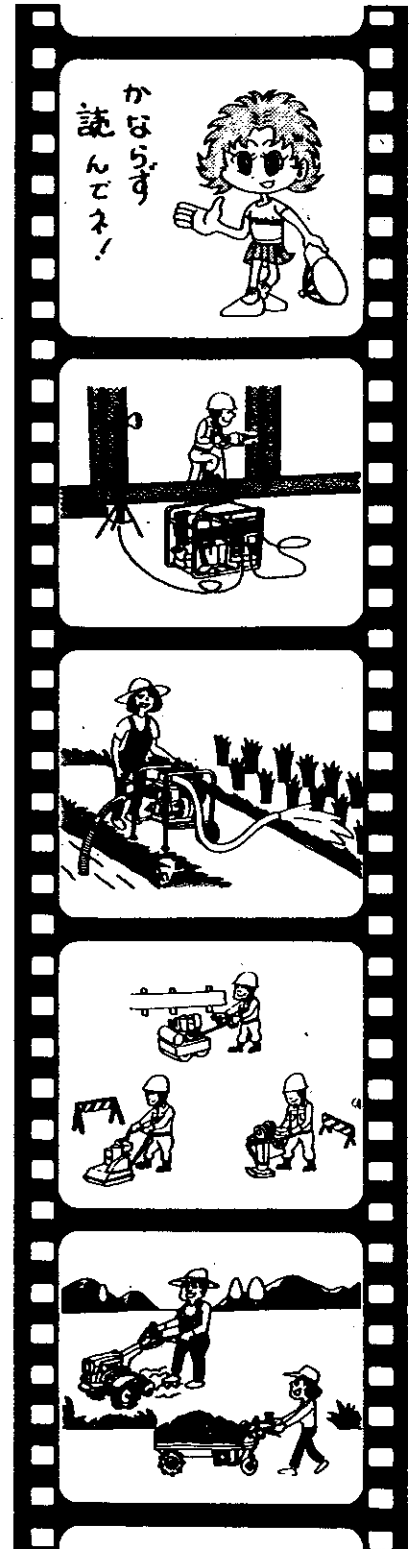
このたびはロビンエンジンをお買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書は、ロビンエンジンの正しい取扱い方法と簡単な点検・整備について説明してあります。

正しい使い方は、作業の安全とエンジンを長持ちさせる秘訣です。ご使用前に、是非一度お読みいただき、末長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

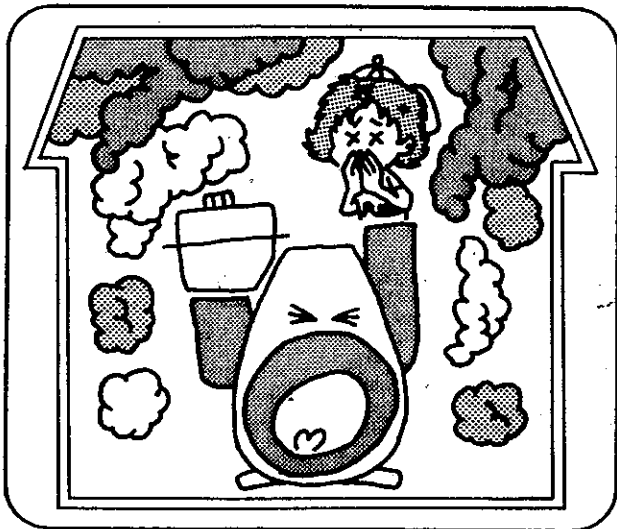
※エンジンの改良等により、本書の内容が異なる場合がありますのでご了承ください。

## 目 次

1. 安全にご使用いただくために.....	1
2. エンジン各部の名称.....	3
3. 運転を始める前に.....	4
4. 運転のコツと停止のしかた.....	5
5. 点検について.....	8
6. 長期保存のしかた.....	11
7. 仕 様.....	12



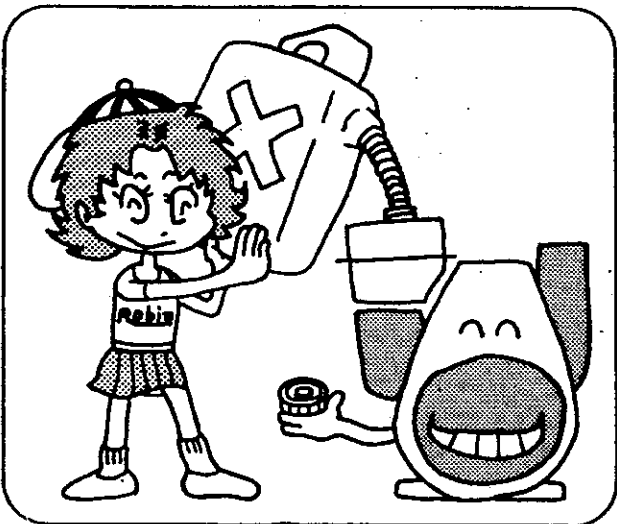
# 1. 安全にご使用いただくために



## 換気は適切ですか。

室内、トンネル内など換気の悪い所では使用しないでください。

エンジンの排気ガス中には、有害な一酸化炭素等が含まれており危険です。やむをえない場合は、排気ガスの室外放出等、十分な換気をしてください。

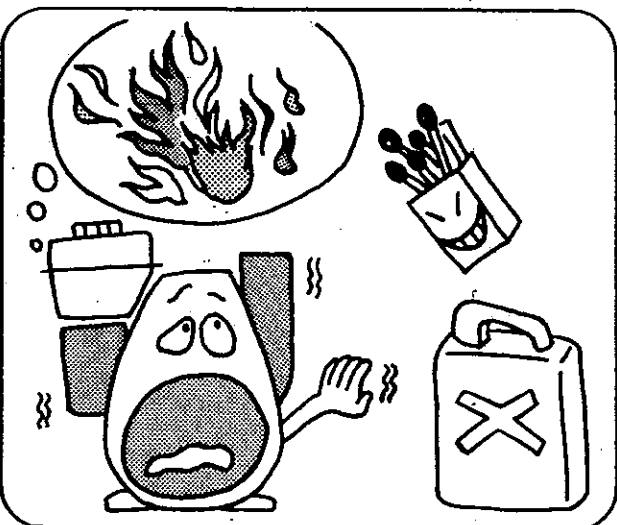


## 燃料補給はエンジンを止めてから。

エンジンを運転したまま燃料を補給すると、燃料がこぼれたりし、エンジンスパークやマフラなどから引火することがあります。

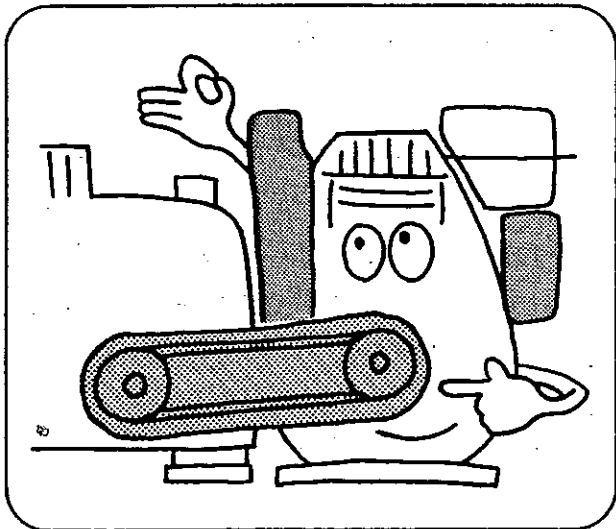
燃料がこぼれたら、きれいにふき取ってから始動してください。

タバコの火等、火気には十分注意してください。



## 燃えやすいものは近づけない。

マフラの排気口付近は高温になります。ガソリン、マッチ、紙、わらくず等燃えやすいものを近づけないように注意しましょう。

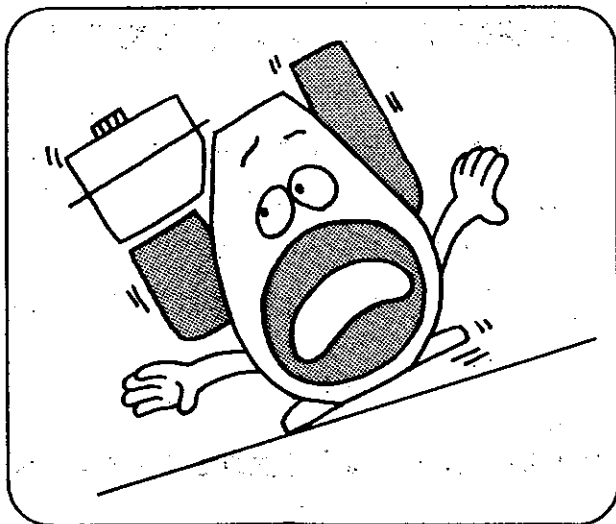


### 回転部の保護は十分ですか。

出力軸、プーリ、ベルト等回転部が露出していると危険です。十分な防護(カバー)をしてください。

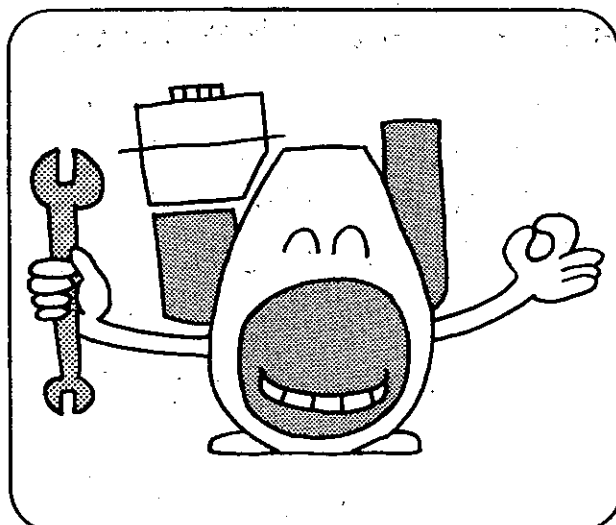
### 高温部に注意してください。

幼児が触れないような、安全な場所で運転してください。



### エンジンの運搬に 気をつけましょう。

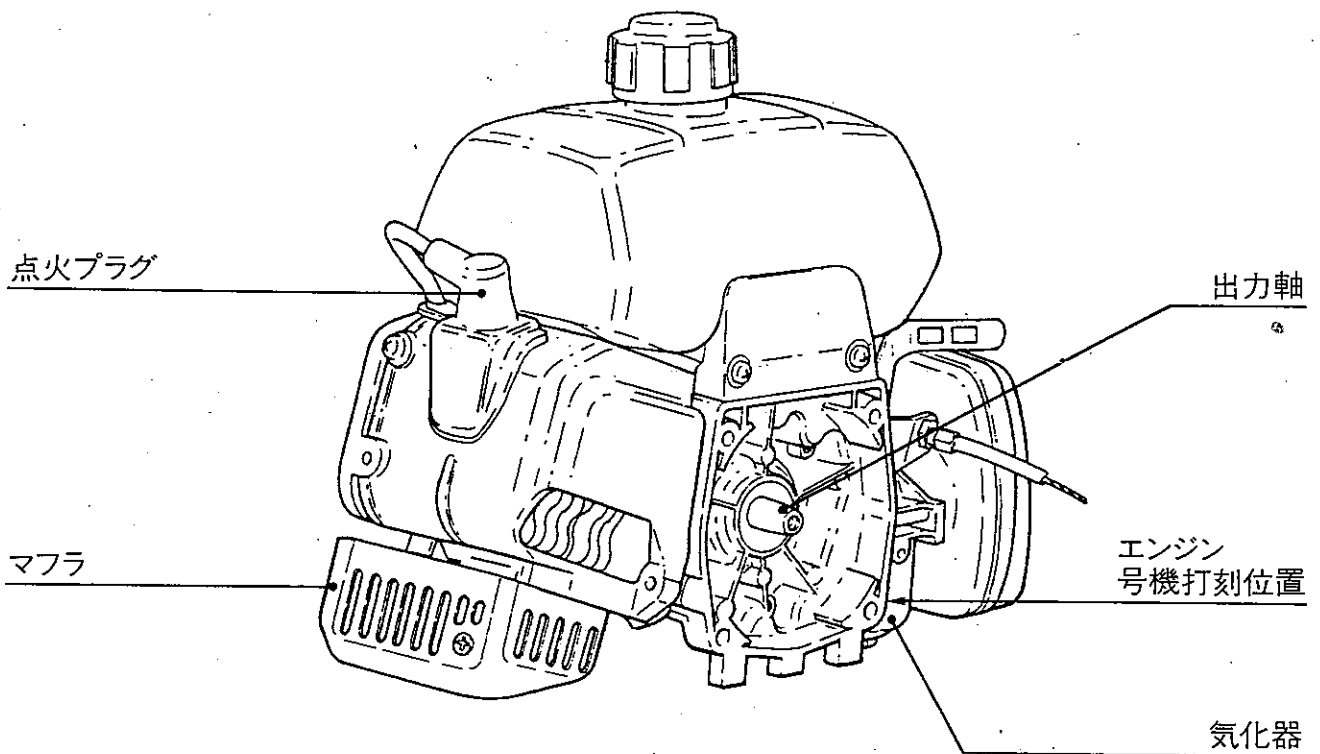
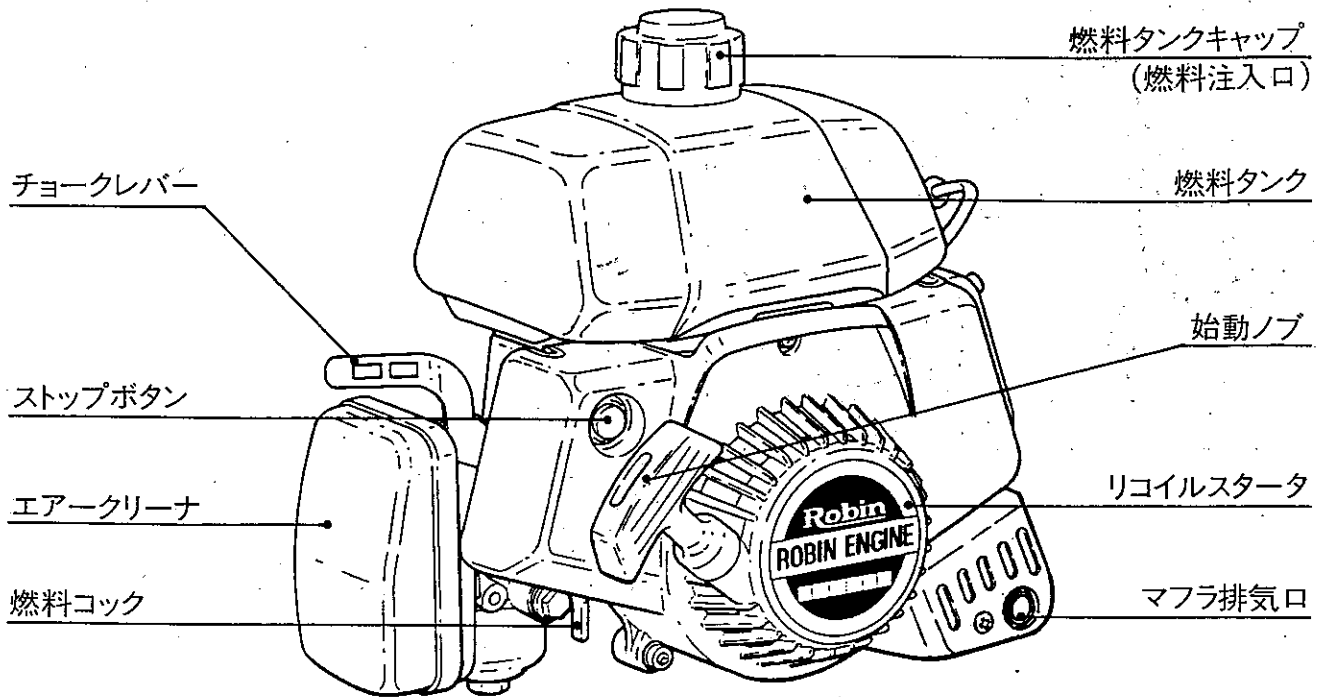
運搬時はタンクキャップが外れないように確認し、燃料のコックを閉じて下さい。又長距離、悪路の運搬時は、燃料タンクの燃料を抜いてください。



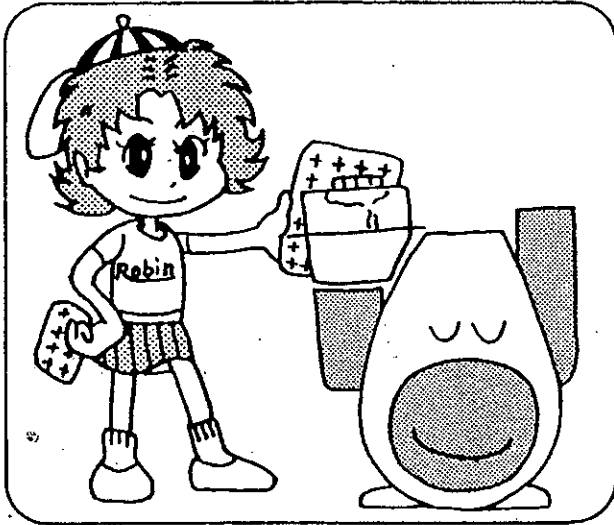
### 作業前の点検を行いましょう。

- 燃料パイプ等の取付部がゆるんだり損傷していないか確かめてください。
- 各部のボルト、ナット等のゆるみはないか確かめてください。
- 運転する時の服装にご注意ください。前掛け、腰タオル等、特に長いヒモ類は巻込まれたり引掛かる危険があります。

## 2. エンジン各部の名称

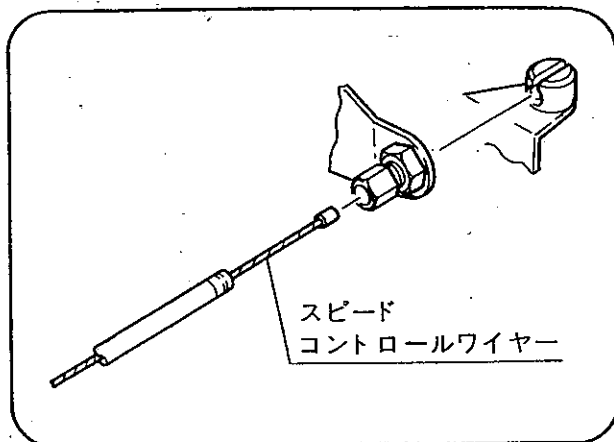


### 3. 運転を始める前に



#### 燃料タンクに燃料を入れる。 (火気厳禁)

- ・燃料は潤滑油混合ガソリンを使用してください。  
燃料の混合比率は  
自動車用ガソリン25：1 2サイクル専用ロビン純正オイル又は一般2サイクル専用オイルです。
- ・エンジン購入直後10時間は、20：1の潤滑油混合ガソリンを使用してください。
- ・燃料タンク容量は約1.1ℓです。  
(注油口いっぱいまで入れないでください。)
- ・燃料がこぼれたら、きれいにふき取ってから始動してください。
- ・燃料補給は、エンジンを停止してから行ってください。

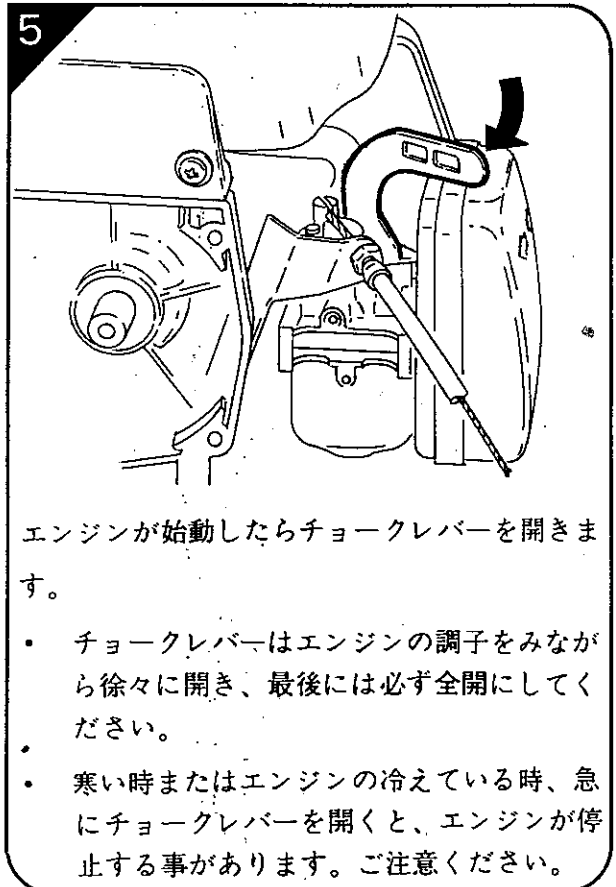
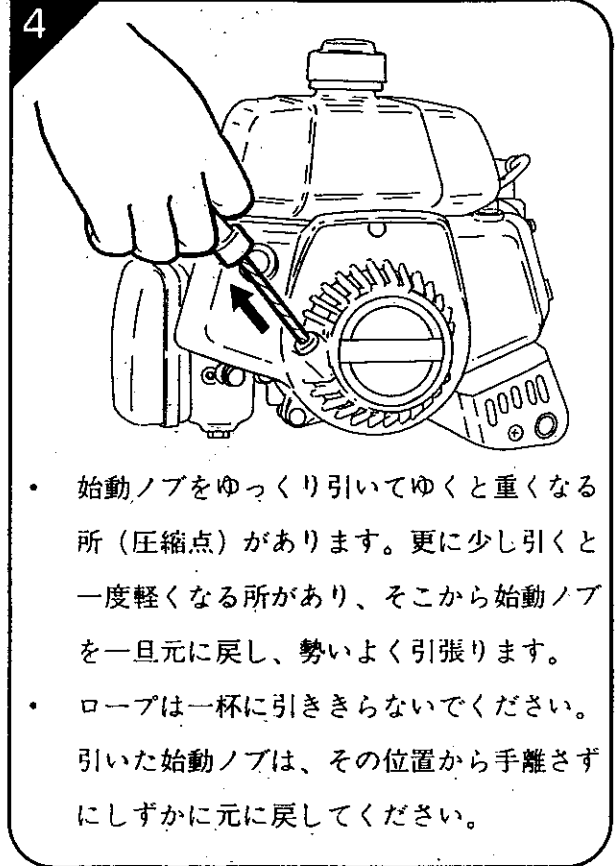
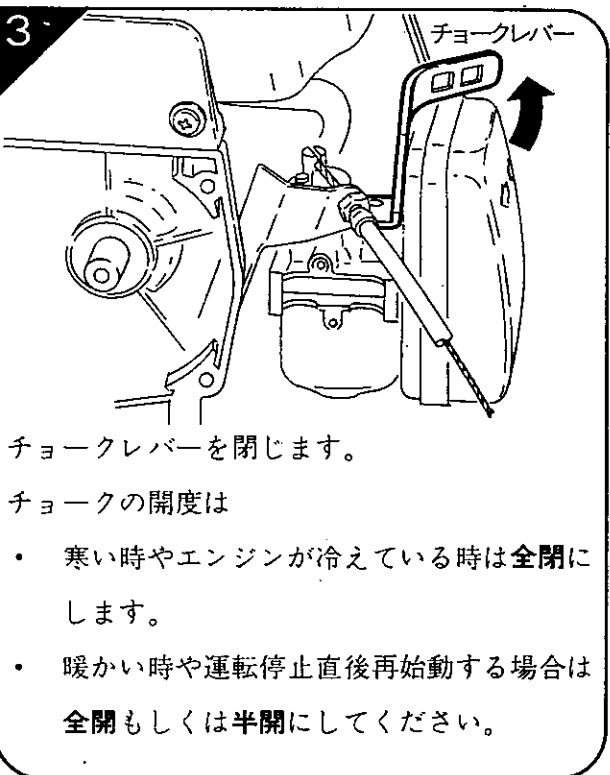
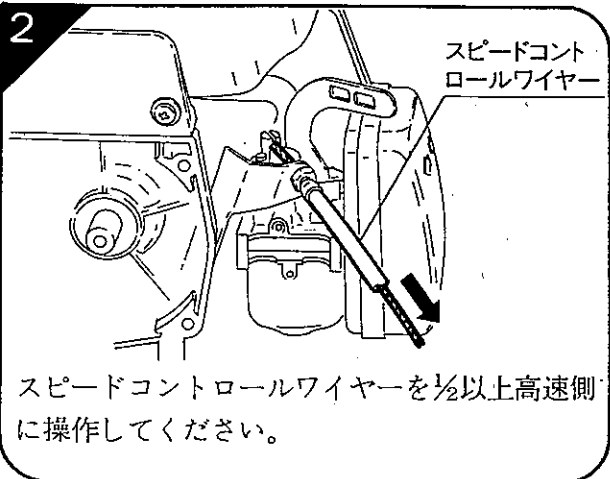
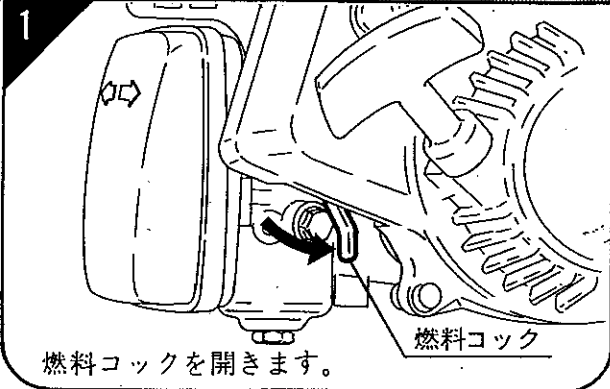


#### エンジンスピード コントロールワイヤーの組付

- ・左図に示すようにスピードコントロールワイヤーを気化器のスピードコントロールレバーに組付けてください。

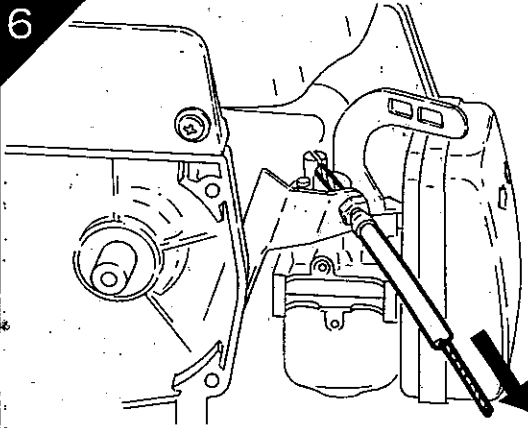
## 4. 運転のコツと停止のしかた

### 始 動



## 運 転

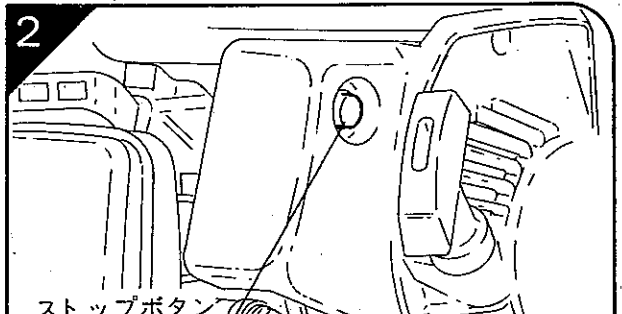
6



スピードコントロールワイヤーを徐々に高速側に操作し、所要回転数にセットします。

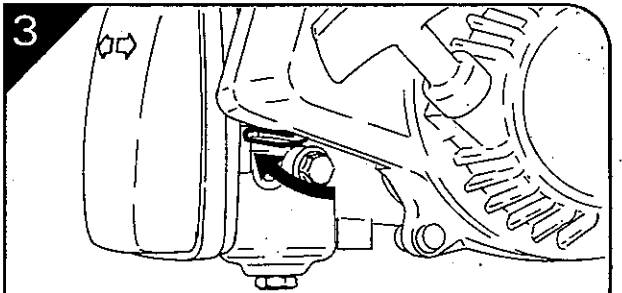
- 作業を中断する時は、その都度スピードコントロールワイヤーを低速側に戻してください。燃料の節約のみならず、エンジンの寿命にも好影響を与えます。

2



ストップボタン  
ストップボタンをエンジンが停止するまで押し  
てください。

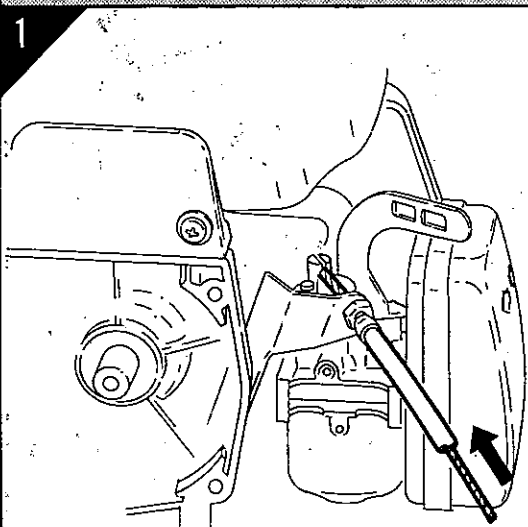
3



燃料コックを閉じます。

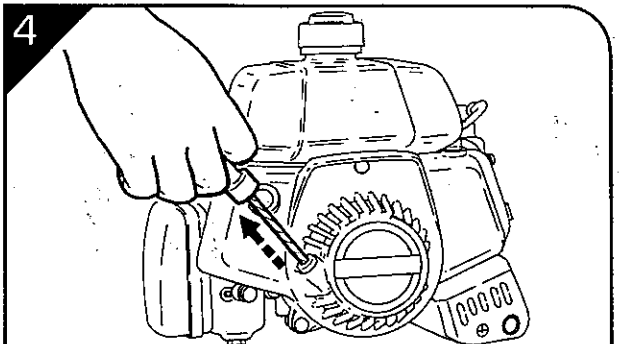
## 停 止

1



スピードコントロールワイヤーを低速側にし、  
1～2分位運転します。

4



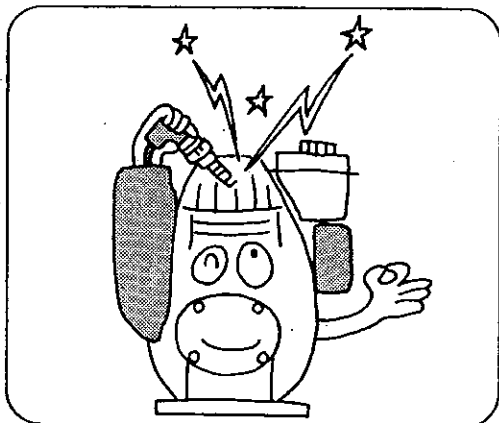
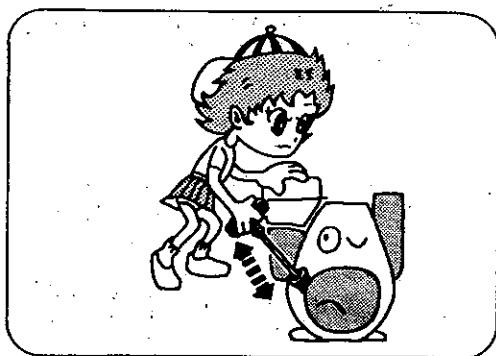
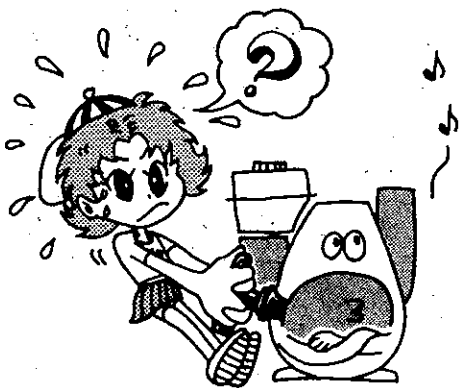
リコイルスタータの始動ノブをゆっくり引き、  
重くなった所で始動ノブを戻してください。  
エンジン内部への外気（湿気）の浸込が防止で  
きます。

### 燃料コックで停止させる方法

長時間使用しない時は、燃料コックを閉にしてエンジンが自然に停止するのを待ちます。この方法は気化器内の燃料の変質による気化器内のつまり等を防止できます。



## エンジンがかからないとき



修理を依頼される前に、まずご自身で次の点検を行ってください。

点検された上でなお異常のある場合は、お買い求めの販売店または最寄りの指定整備工場へお申しつけください。

### 圧縮は十分ですか？

1. リコイルスタータの始動ノブをゆっくり引いて確認します。

圧縮の少ない時は点火プラグの締付けが確実か確かめ、ゆるんでいたなら増締めしてください。

2. その他の時は販売店又は指定整備工場へお申しつけください。

### 燃料が燃焼室に吸込まれていますか？

1. チョークレバーを閉じ、5～6回始動ノブを引いてから点火プラグを外してください。プラグの先端がぬれていれば燃料の吸込みは良好です。

2. 燃料が吸込まれていない場合は、燃料がどこで止まっているか点検（気化器および燃料コック）してください。

3. 燃料が吸込まれていて始動しない場合は、新しい燃料と交換してみてください。

### 火花は出ていますか？

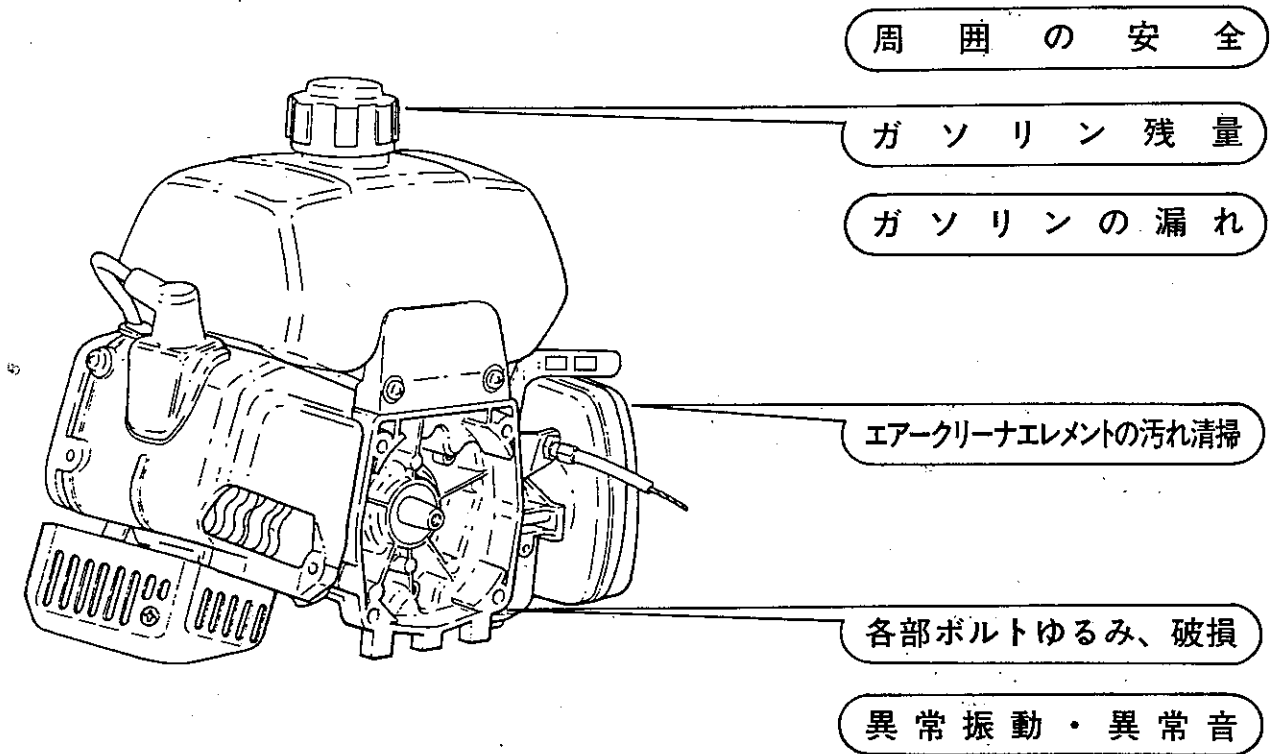
1. 点火プラグを外し、プラグキャップに組付けてプラグの金属部をシリンダヘッドにアースさせ、始動ノブを勢いよく引いて確認します。

2. 点火プラグから火花が出ない時は、プラグを新品と交換してみてください。

3. それでも火花の出ない時は、販売店又は指定整備工場へお申しつけください。

# 5. 点検について

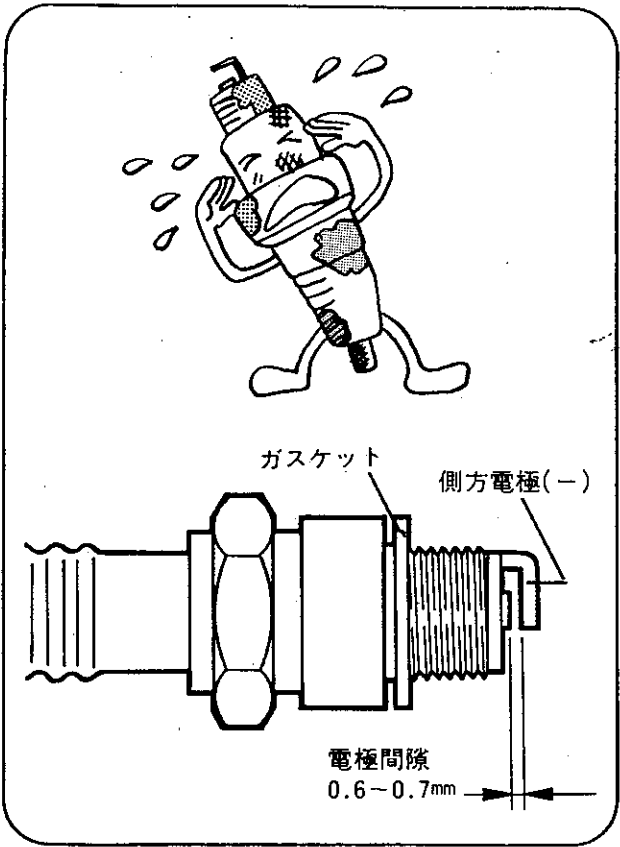
## 日常点検



## 定期点検

エンジンを常に良好な状態で使うため、次の点検表に従って保守点検を必ず実行してください。  
(普通の状況で使用の場合)

運転時間	8時間 (毎日)	50時間 (毎週)	150時間 (毎月)	500時間 (1シーズン毎)
各部の清掃及び締付点検	○			
点火プラグの清掃		○		
エアークリーナの清掃		○		
燃料ストレーナの清掃			○	
点火プラグの間隙調整			○	
排気ポートのカーボン除去				○
気化器清掃				○



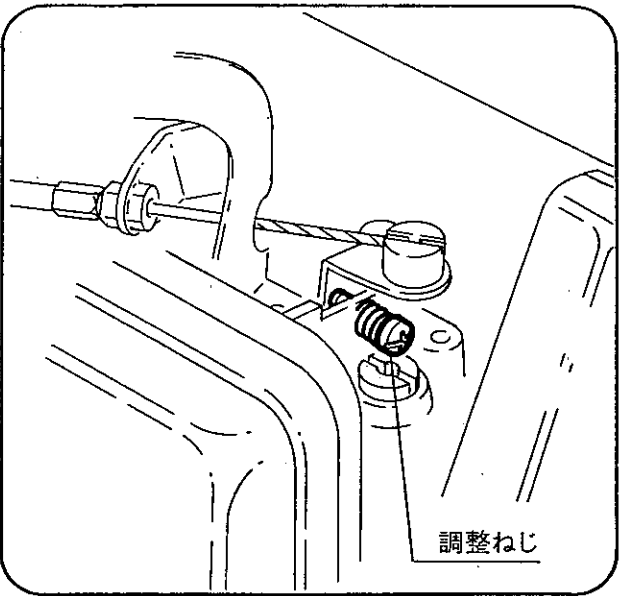
## 点火プラグの清掃と調整

1. プラグがカーボンで汚れている場合は、プラグクリーナー又は、ワイヤブラシ等で汚れを落してください。
2. 電極間隙の広い場合は側方電極を曲げて、**0.7~0.7mm**に調整します。

推奨点火プラグ：NGK BPM7A相当品

## マグネット関係

コイルコアとフライホイールの間隙	0.3mm	±0.1mm
------------------	-------	--------



## 気化器の調整

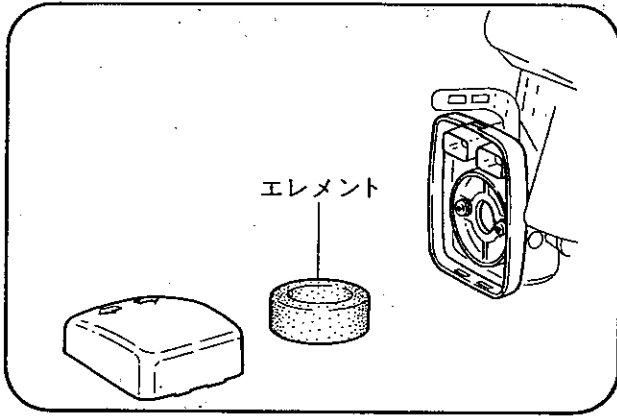
アイドル回転調整：調整ねじ（図参照）を右に回わすと回転が上り、左に回わすと回転が下がります。

標準アイドル回転：2800±100rpm

### 《注意》

※気化器は出荷時に調整してありますから、やたらにセットを変えますと、かえって調子を悪くしてしまいます。

再調整をするときは、販売店又は整備工場の指示にしたがい行ってください。

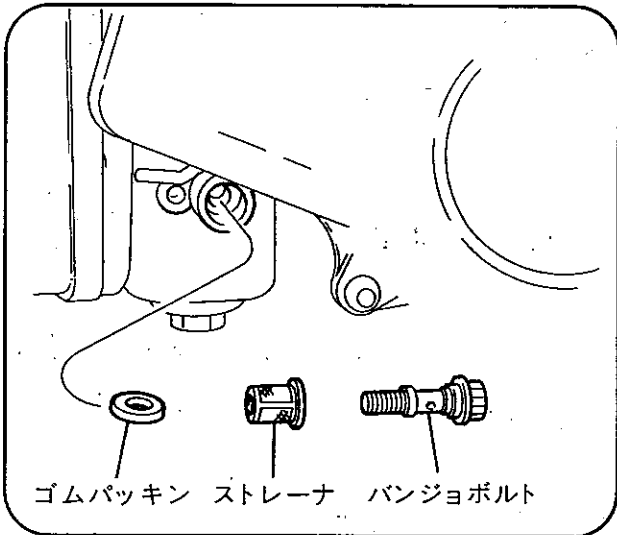


## エアークリーナの清掃

空気中の塵埃を取り除き、エンジンにきれいな空気を供給するエアークリーナエレメントの汚れがひどくなると、エンジンの始動不良、出力不足、運転に不調をきたすばかりでなく、エンジンの寿命を極端に短くします。

いつもきれいなエアークリーナエレメントにしておくよう心掛けてください。

エレメントの清掃は、エレメントを取り出し、白灯油で洗浄後、**白灯油3：エンジンオイル1**の割合の混合油に浸し、固く絞って取付けます。



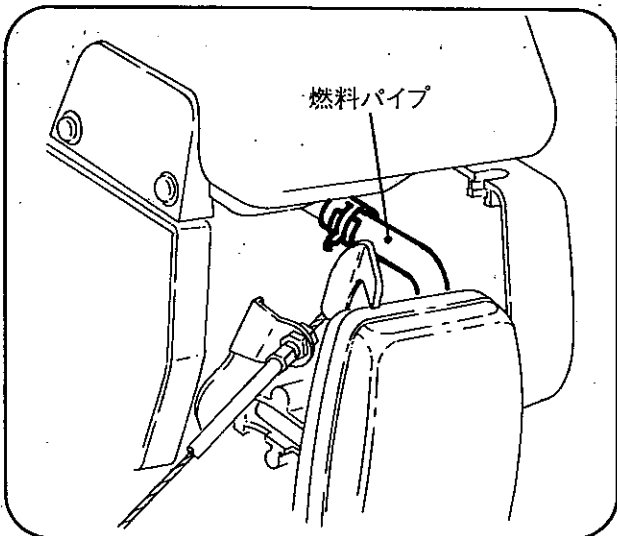
## 燃料ストレーナの清掃

化器のバンジョボルトを外し、ストレーナを白灯油で洗浄してください。

## 燃料パイプの交換

燃料パイプは**2年**で交換してください。

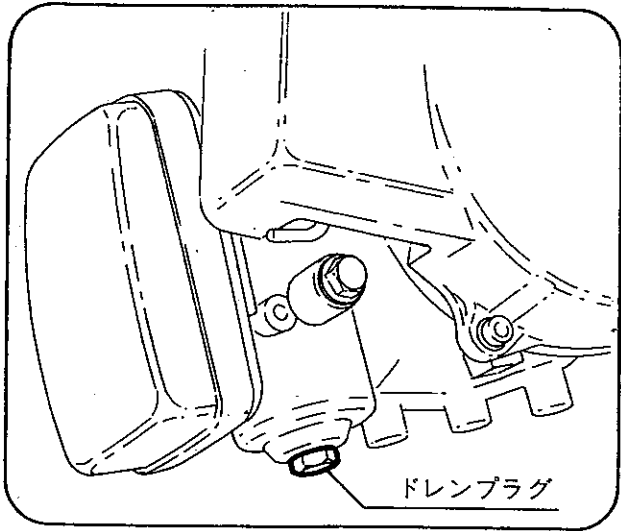
尚、点検時漏れ等のあるものは2年を待たずに交換してください。



## 各所ボルト、ナット、ビスの点検

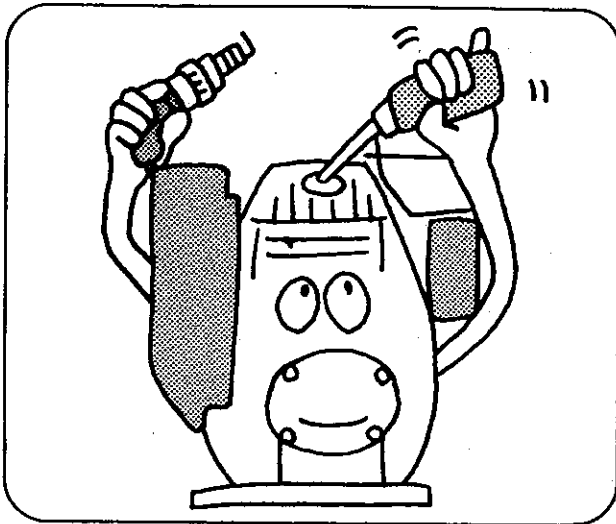
- ・ゆるんだボルト、ナット等は増締めします。
- ・燃料やオイルの漏れがないか点検します。
- ・破損部品は新品と交換し、安全を心掛けてご使用ください。

## 6. 長期保存のしかた



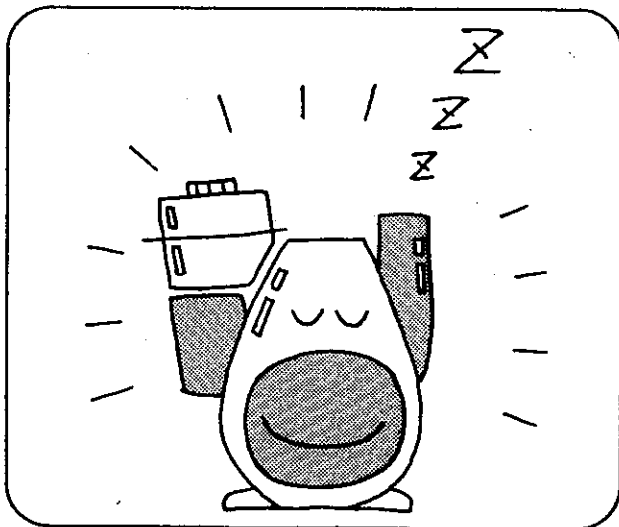
### 燃料を抜く (火気厳禁)

燃料コックを開き、気化器のフロート室下部のドレンプラグを外し、受け皿を当ててから抜いてください。



### 注油する

- 点火プラグを外し、エンジンオイルを約2 cc 注入し、リコイルスタータの始動ノブを静かに2～3回引き、点火プラグを締付けてください。

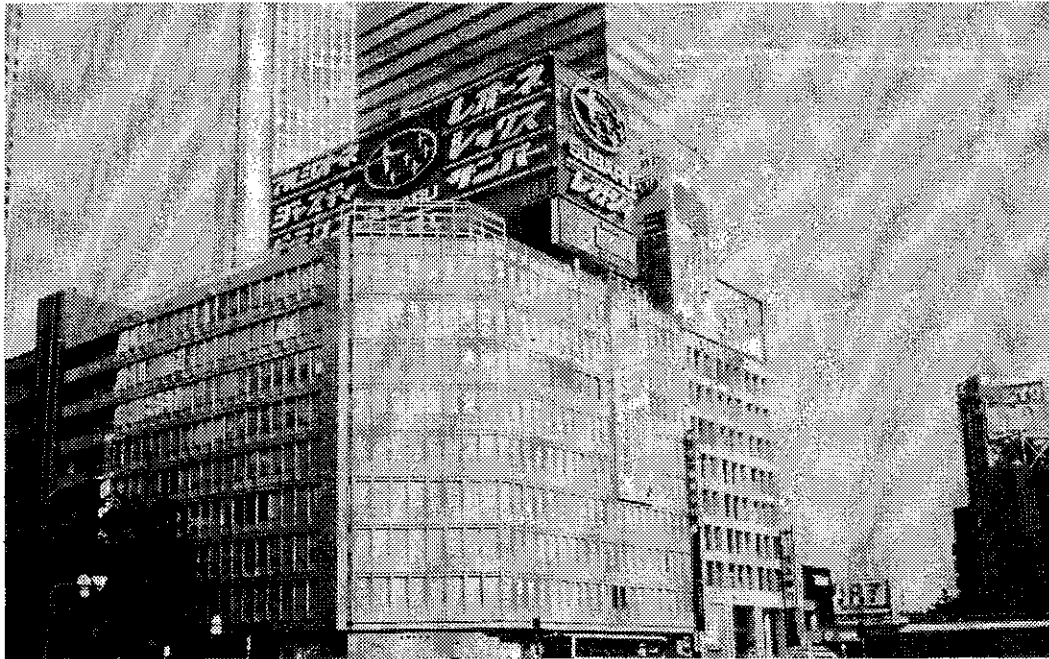


### 清掃して格納する

- リコイルスタータの始動ノブをゆっくり引き、重くなった所 (圧縮点) で止めておきます。
- 各部を油布で清掃し、カバーをかけて湿気、ホコリの少ないところに格納してください。

# 7. 仕 様

名 称	EC03ER	EC04ER
形 式	空冷2サイクル傾斜形リードバルブ式ガソリンエンジン	
内 径 × 行 程 (mm)	37×32	40×32
総 排 気 量 (cc)	34.4	40.2
* 最大出力 (ps/r.p.m)	1.8/7000	2.0/7000
連続定格出力 (ps/r.p.m)	1.2/6000	1.4/6000
回 転 方 向	左(出力軸側より見て)	
使 用 燃 料	潤滑油混合ガソリン(混合比 ガソリン25：潤滑油1)	
燃料タンク容量(ℓ)	1.1	
使 用 潤 滑 油	2サイクル専用オイル	
気 化 器	フロート式	
点 火 方 式	無接点式マグネット点火	
点 火 プ ラ グ	NGK BPM7A相当品	
始 動 方 式	リコイル式	
潤 滑 方 式	燃料混合潤滑式	
乾 燥 重 量 (kg)	3.4	3.5



## 当社の工場及び主要製品シリーズ

大宮製作所	各種汎用ロビンエンジン・ジェネレータ・除雪機
群馬製作所	スバルレガシィ・レオーネ・アルシオーネ・ジャスティ ドミンゴ・レックス・サンバー
東京事業所	(旧三鷹製作所)
伊勢崎製作所	各種バス車体・ユニットハウス
宇都宮製作所	航空機・気動車・電車・各種客車・貨車・テナントスイーパー 塵芥集収車・各種コンテナ

# 富士重工業株式会社

産業機器事業本部	〒160 東京都新宿区西新宿1-7-2(スバルビル)
国内営業部	
エンジン営業	〒330 大宮市宮原町1-9 TEL 048-652-5428 FAX 5441
機器営業	〒160 東京都新宿区西新宿1-7-2 TEL 03-3347-2425 FAX 2625
大阪連絡所	〒550 大阪市西区新町2-12-1 TEL 06-532-0613 FAX 0331
サービス部	〒330 大宮市宮原町1-9
営業技術	TEL 048-652-5586 FAX 5590
部品営業	TEL 048-652-5576
用品営業	TEL 048-652-5577